

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援スパーク稲城オレンジ		
○保護者評価実施期間	2025年2月3日		2025年2月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35 (回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025年2月3日		2025/2/21
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月25日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・職員が一人ひとりに向き合い、子どものやる気や「楽しい」と言う気持ちを大切に支援していること	・スペースの狭さはあるが、適宜工夫しながら支援していること(公園に行く等) ・遊びや表現力など子供が楽しいと感じ、自主的に参加できるような研修を定期的に行っている。 ・支援後の振り返りなどを職員と共有し、次の支援へとつなげていく機会を設けている。 ・職員間で支援内容を共有できるよう議事録や見える化などのツールを活用している。	・保護者により支援内容を認識してもらう機会や、関わりについて職員全員(パートナー含め)に周知していくこと
2	・保護者に支援内容を見学していただいたり参加していただくことで家庭でのかかわり方やお子様の褒めポイントなどを実際に感じていただける	・保護者から出た悩みや相談内容を職員間で周知している ・その日支援にかかわらなかった職員が情報の共有ができるよう議事録や見える化というシステムを活用している	・どの職員も利用者、利用保護者からの信頼をいただけるような振る舞いをする
3	・どの職員も意見を伝えやすく、それに対して検討するなど職員のことを尊重し柔軟に対応している。 ・職場でのルールはクレドを通して見直している。	・会議等では、決まった者のみが意見を言う場ではなく一人ひとり意見を出しやすいようリーダーがファシリテーターとなり意見をまとめていく ・書類等で意見を出す際は色分けして表記し、様々な意見があることを周囲が認識できるようにしている	・会議のファシリテーターは会議ごとや場面で変えていくと双方で新たな取り組みができるように感じる

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域や学校・園と関わり、互いの情報交換や協力をしていく機会が少ない	・他所のニーズが把握できていない(児発施設との交流を求めているのか、求めているとしたらどういった内容での関わりを求めているか等) ・支援にあたる職員+αで他所との連携をするパワーに余力が少ない	・他所との連携の必要性についてまずは職員間で話し合いや認識の一致を図る
2	・年度替わりで職員配置の変更があるため、新年度スタート時は利用者、利用保護者ともに不安に感じることがある	・運営法人の考えとして、職員が様々な経験を積むことによりスキルアップし、よりよい支援を提供できるようになるようにという考えのもと職員配置を行っているため。	・安心して利用していただけるよう利用者、利用保護者ともには関係構築を中心に行う ・様々なツールを活用しての職員紹介を行う ・自己紹介などで支援前に気持ちの準備ができるような時間を作る
3			